

令和８年度事業計画

赤い羽根共同募金運動は、昭和２２年に市民が主体の民間運動として始まり、本年度で８０回目を迎えます。

近年では、住民同士の繋がり希薄化による社会的孤立や高齢者等の生活課題、生活の維持が困難になる世帯など、本町においても地域の福祉課題が多様化しています。これらの地域の様々な課題に柔軟に対応するための民間社会福祉活動を支えるため、赤い羽根共同募金は重要性を増しています。

募金活動については、戸別募金や法人募金をはじめ、中学生によるトリアスでの募金活動、寄付つき商品の推進、祭りひさやまでの募金活動、赤い羽根チャレンジ選手権の実施、UMOU PROJECT 等に加え、本年度は職域募金の依頼内容の検討や、法人募金および募金箱設置の新規開拓に努めます。

また、住民に親しまれる共同募金を目指し、本年度も本町における「赤い羽根キャッチフレーズ」を募集し、普及・啓発を図ります。

重点的に取り組む事項

- １．募金増額に向けた取り組み
- ２．広報啓発活動の強化

事業実施計画

１．募金増額に向けた取り組み

- （１）戸別募金、法人募金の協力依頼
- （２）個人募金の協力依頼（チャレンジ選手権等）
- （３）寄付つき商品の推進（募金百貨店、自動販売機）
- （４）クオカード等の廃止による職域募金の依頼内容の検討
- （５）募金箱設置の推進
- （６）学校募金の促進
- （７）UMOU PROJECT の推進
- （８）新たな募金方法の検討

２．広報啓発活動の強化

- （１）街頭・イベント募金の実施（Ａコープ、トリアス、祭りひさやま）
- （２）全戸配布チラシによる広報活動
- （３）社協だより、ホームページ、フェイスブック等による情報発信
- （４）「ボランティア育成・福祉団体等助成金」の周知活動
- （５）赤い羽根キャッチフレーズの募集